

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成22年3月期第1四半期連結累計期間における経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の減少等により資金運用収益が減少したほか、有価証券売却益の減少によるその他業務収益の減少等により、前年同期比51億円減少し417億円となりました。

経常費用は、海外証券化商品の前倒し売却により売却損が増加しましたが、預金利息などの資金調達費用や有価証券の減損処理の減少等により、前年同期比14億円減少し384億円となりました。

以上により、経常利益は、前年同期比36億円減少し33億円となり、四半期純利益は、前年同期比30億円減少の32億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

連結ベースの当四半期末の総資産につきましては、貸出金及び繰延税金資産などで減少しましたが、有価証券及び現金預け金などが増加したことから、21年3月末比552億円増加し7兆4,695億円となりました。

負債につきましては、コールマネー及び譲渡性預金などで減少しましたが、預金が増加したことなどから、21年3月末比243億円増加し7兆637億円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加を主因として、21年3月末比309億円増加し4,058億円となりました。

自己資本比率（国内基準）は連結ベースでは12.83%、うちTier1比率は11.48%となり、常陽銀行単体の自己資本比率は12.65%、うちTier1比率は11.42%となり、引続き高い水準を維持しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月15日公表の数値から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成21年3月期の予想損失率を適用して計上しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当ありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	194,062	179,030
コールローン及び買入手形	27,125	26,729
買入金銭債権	52,237	54,063
特定取引資産	2,940	9,578
有価証券	2,149,327	1,975,080
貸出金	4,805,019	4,911,988
外国為替	2,095	1,316
リース債権及びリース投資資産	31,088	31,742
その他資産	76,093	70,500
有形固定資産	96,555	97,394
無形固定資産	7,130	7,124
繰延税金資産	37,565	57,654
支払承諾見返	26,454	28,552
貸倒引当金	△38,095	△36,422
投資損失引当金	△48	△48
資産の部合計	7,469,553	7,414,285
負債の部		
預金	6,708,651	6,547,452
譲渡性預金	60,162	99,360
コールマネー及び売渡手形	10,000	111,947
債券貸借取引受入担保金	69,986	73,649
特定取引負債	349	270
借入金	84,525	80,885
外国為替	268	185
社債	15,000	15,000
信託勘定借	5	14
その他負債	63,995	57,282
退職給付引当金	4,266	4,219
役員退職慰労引当金	14	742
睡眠預金払戻損失引当金	1,315	1,333
ポイント引当金	120	102
利息返還損失引当金	8	8
偶発損失引当金	1,891	1,623
特別法上の引当金	0	0
再評価に係る繰延税金負債	14,004	14,007
負ののれん	2,725	2,765
支払承諾	26,454	28,552
負債の部合計	7,063,746	7,039,404

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
資本金	85,113	85,113
資本剰余金	58,574	58,574
利益剰余金	254,297	254,154
自己株式	△26,818	△26,804
株主資本合計	371,165	371,036
その他有価証券評価差額金	24,353	△6,397
繰延ヘッジ損益	△1,805	△1,868
土地再評価差額金	10,734	10,739
評価・換算差額等合計	33,281	2,474
少数株主持分	1,358	1,369
純資産の部合計	405,806	374,881
負債及び純資産の部合計	7,469,553	7,414,285

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	46,886	41,778
資金運用収益	34,015	30,163
(うち貸出金利息)	23,829	22,972
(うち有価証券利息配当金)	9,616	6,834
信託報酬	11	9
役務取引等収益	6,206	5,939
特定取引収益	112	136
その他業務収益	649	300
その他経常収益	5,889	5,228
経常費用	39,878	38,429
資金調達費用	7,317	3,491
(うち預金利息)	4,500	2,663
役務取引等費用	1,659	1,650
その他業務費用	1,890	3,075
営業経費	19,286	19,452
その他経常費用	9,723	10,760
経常利益	7,008	3,349
特別利益	698	320
償却債権取立益	648	320
その他の特別利益	49	—
特別損失	94	159
固定資産処分損	70	135
減損損失	23	24
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	7,612	3,509
法人税、住民税及び事業税	1,259	206
法人税等調整額	52	85
法人税等合計		291
少数株主利益又は少数株主損失(△)	25	△13
四半期純利益	6,275	3,231

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当ありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当ありません。